

『カテキヨのJKお姉ちゃん!』

(企画当初の脚本。変更点有)

- 1 親に用意された家庭教師は、近所に住む明るく優しいJKお姉さん。
2
3
4
5 春から始まつた週に一度の授業も、今日で既に数度目。お姉さん
6 ん。
7 に憧れとも恋心ともつかぬ仄かな感情を持つ主人公だが、彼女の肢
8 体を心に浮かべて吐き出した初めての精を、よりもよつて本人に
9 見つかってしまい……。
10
11
12 ■キャラ設定
13
14 ●早坂さくら（本作のヒロイン）
15 •身長157cm
16 •体重50キロ前後でやせ型
17 •一人称わたし
18 •設定年齢は1●歳
19 •髪はボブでバストはDカップ。普段は優しいお姉さんタイプだが、
20 スイッチが入ると蠱惑的な魅力を表情に宿す。他者の支配に快感を
21 覚え、手の中でもだえる可愛い存在を愛でて遊ぶ。その欲求の解消
22 に彼氏を作つたが、すぐに新しいオモチャを発見する。
23

1 頭が良く高偏差値の●校に通つてゐる。

2 父母は共働きで比較的裕福。しかし満たされてゐる故の物足りな
3 さはいつも感じていた。なにかが物足りないまま、人生を歩んでい
4 くのか……。空虚な気持ちで、日々を過ごすさくら。

5 しかし欲求を満たす転機は、小学生の頃に飼つた犬からもたらさ
6 れた。

7 両親が長期不在時、犬はさくらに対し従順だつた。エサをやれば
8 千切れるほど尾を振り、エサを抜けばすぐのような瞳で自分を見つ
9 めてくる。生きるにはさくらに依存する他なく、他者を支配する興
10 奮は一瞬でさくらの背筋を駆け上つた。

11 以来、さくらはこの歪な支配欲を常に抱えて生きてゐる。普段、
12 優しい女の子を演じてゐるのは処世術でもあつた。

13 付き合い始めた和也は籠絡に時間がかかるだろう。それよりも家
14 庭教師として雇われた、●学六年生の少年。純粹で、穢れを知らず、
15 真つすぐな目。初めて興奮を覚えたあの犬に似ている。この子なら
16 ……。
17

18

19

20

21

22

23

24

1 ●主人公

2 • 身長 145 cm

3 • 体重 38キロ前後。体形は普通

4 • 設定年齢は●●歳の●学六年生

5 • 庇護欲をくすぐる大きな瞳

6 • 暗いキャラというほどでもないが、それほど活発な性格でもない。

7 ゲームが趣味で、去年までは自宅や友人宅でよく遊んでいた。

8 成績は中くらい。仲の良い友人はみんな中受するらしく、最近は

9 孤独を感じている。

10 本人に●受の意志はないが、親の焦りから家庭教師を付けられる

11 ことに。自由が制限され乗り気ではなかつたが、やつてきた家庭教

12 師は見覚えのある近所のJK、早坂さくらだった。

13 初めての授業から彼女に憧れを持つようになり、期待に応えたい

14 と思っている。

15

16 ●進藤和也

17 • 身長 173 cm

18 • 体重 63キロ前後。体形はがっしり型

19 • 設定年齢は16歳、さくらと同級だが違う高校

20 • いわゆる陽キャラで他人との距離が近い。だいぶ年下の主人公にも

21 対等に接するお兄さん

22 • 声がデカい筋肉

23 • さくらにベタ惚れ。従順。人懐っこい

24 • 物事に対し、なにかを疑えるレベルまで考えるのが苦手

■トライク1 誘惑の耳舐めプレイ 20分程度

- 1 場所：主人公の部屋
- 2 春から始まつたさくらによる家庭教師も六回目を数える。初回から物理的に距離が近いさくらを想像し、主人公はつい一時間前に精通を済ませたばかり。まだ動搖も興奮も冷めてはいない中でさくらがやつてきて……。
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8 SE ドアをノックする音
- 9
- 10 【10】
- 11 やくら 「やくらだよー。入つていーい？」
- 12
- 13 SE ガタガタと慌ただしい物音
- 14
- 15 やくら 「なーに？ バタバタしちゃつて。
- 16 やては、家庭教師の時間忘れてたな？」
- 17
- 18 SE ドアを開く音、ドアが閉まる音
- 19
- 20 やくら 「ひで……なーんだ。ちゃんと勉強できてるじやん。
えらいえらい。【16から11に移動しながら】
21
22
23
24
じやあ、隣に失礼しまーす。
……よいしょつと」

1

【 ⑨ 】

2 SE 衣擦れの音

3

4 もくも 「えー、どうしてそっちに座るの？

5 テーブルの向こうじや、君の字が見えないよ。

6 ほらあ、問題集も逆さになつて読みにくいから。

7 【 ややゆつくり、誘うように】

8 だから、いつもみたいにこつち。隣においでよ。

9 ギューッとくつついて、勉強しよ？

10 …んー？ どうして来てくれないのかなー。

11 あ、わたしの制服が夏服になつたから、照れてる感じ？

12 可愛いなあ、もう。

13 だけど、いまから勉強するんだからね。

14 ちやんとしないと。

15 そっちがその気なら、わたしが捕まえちゃうよ。

16 いくよー……【溜めを作る】。

17 えいっ！ つて、あ！」

18

19 SE ピミ箱が倒れるガタツ音。

20

21 もくも 「ピ」めーん、ピミ箱倒しちゃった。片付けるね。

22 つて、うわっ！」

23

24

1 SE なにかを慌てて奪い取るガタガタ音

2

3

【一】

4 もくも 「びつくりしたあ。

5 そんなに慌てて片付けなくてもいいじゃない。

6 でもね……。

7 【明るく】

8 つーかまーえたつ」

9

10 SE 大きな衣擦れの音

11

12 もくも 「ふふ。

13 君の体、熱くなってるね。

14 どうしてかなー。

15 お姉さんに、

16 ゴミ箱片付けてほしくない理由でもあつたかな?

17 たとえばあ。

18 部屋に入った瞬間から、すっごい匂うティッシュとか?ダメだよ。こういうのは、

19 ぎゅっと閉めた袋に入れて捨てないと

20

21

22

23

24

1

【 1 】

やくふ

「【 ハハ】から声のトーンを徐々に囁き調に、ゆっくりと】

2

ねえ。一人で気持ちいい」と、しちやつたの?

3

真っ赤になつて……。

4

分かるよ。君よりお姉さんだもん。

5

それに君のことは、よく知ってるの。

6

さつきのティッシュが、初めてだつて」とも。

7

【 甘い声で】

8

ねえ、なにを使って気持ちよくなつたの?

9

えつちなサイト? それとも……』

10

11

12

【 3 吐息のような声で、耳元に囁くように】

13

やくふ 「前の授業でじいと見てた、わたしのパンツ?」

14

【 3 】

15

やくふ 「もちろん知つてたよ。見られてるの。

16 可愛い可愛い、君の視線だもん。ちょっと感じちゃつた。

17 でもね、わたしちよつと怒つてるんだよねー。

18 だつて君、わたしに内緒にして、

19 一人で気持ちいいこと、覚えちゃつたんだもん。

20 わたしに相談してくれたら、

21 もつともつと気持ちよくなる方法、

22 教えてあげたのになあ。

23 いまから、してみる?」

24

1

【 3 】

2 もくも 「ふふ……。答えにいくか。

3 ジやあ、

4 わたしにえっちな授業して欲しかつたらねえ……」

5

6 【 3 耳元で囁くように】

7 もくも 「そのまま動かないで、じつとしてて。

8 ふふ……くすぐつたい？

9 耳元でしゃべられると、ゾクゾクしちゃうよねえ。

10 でも我慢して。

11 ……ふー【耳に息を吹きかける】

12 ふふ、ビクつてなつた。

13 でも、そのまま……うん、そう。

14 かわいいね、素直ないい子つて大好き。

15 ノ「褒美に、頭ナデナデしながら耳、舐めてあげる」

16

17 SE 髪を撫でる

18

19 【 1分ほど耳舐め】

20

21

22

23

24

- 1 【 3 引き続き舐めながら】
- 2 やくふ 「ん……、ふう……。
- 3 どう？ 気持ちいい？
- 4 … そう。嬉しいな。
- 5 お姉さんも、君の真っ赤な顔を見てたら、
- 6 興奮してきちゃつた。
- 7 じやあ次は——」
- 8
- 9
- 10 【 3 → 7 移動しながら】
- 11 やくふ 「こっちのお耳。
- 12 【 右耳に迫りつつ】
- 13 たあっぷり、気持ちよくなつてね』
- 14
- 15 【一分ほど耳舐め】
- 16 【 7 引き続き耳を舐めつつ、耳たぶへのキスを混ぜる】
- 17 やくふ 「ん……ん。……あれ？
- 18 【 ウイスパーボイスで】
- 19 君のおちんちん、……もう硬くなつてゐる』
- 20
- 21 【主人公、謝る】
- 22
- 23
- 24

1

【 2 】

2 やくわ 「【 優しく 】 謝らないで。ダメじゃないよ。

3 君だって、男の子だもん。

4 むしろお……」

5

6 【 3 耳元】

7 やくわ 「もつと元気になつてくれたら、わたしは嬉しいけどな。

8 ふふ……どう？ 頑張れる？

9 じやあ……、もしもわたしの彼氏より固くできたらせ、

特別なご褒美あげようかな。

11 そうだなあ……おっぱい、見せてあげる。

12 じやあもう一回、」つちのお耳から舐めてあげるよ……」

13

14 【 一分ほど耳舐め】

15

16 【 3 少し離れて】

17 やくわ 「わ……すゞい。

18 どんどん硬くなつてくる。

19 もしかして、耳舐められただけでイッちやいそう？

20 かわいい、かわいい【耳ちゅつちゅ】」

21

22

23

24

1

【 3 】

やくふ

「ん？ あれえ？」

2

ねえ、気づいてる？

3

君の乳首、女の子みたいにたっちやつてる♥

4

Tシャツの上からでもはつきりわかるくらい♥

5

んーん。恥ずかしながらなくていいよ。

6

こっちの、とっても可愛い乳首もいじめてあげる。

7

ほら、Tシャツまくつて」

8

ほら、Tシャツまくつて」

9

SE 衣擦れの音

10

12 【 2 やや下を見ながら】

13 やくふ 「ふふ、ちっちやい乳首。

14 ほーら、指先でくりくりつてすると……アハ♥

15 腰、びくびくってなっちゃうねえ。

16 こわい？ 指だとちょっと、刺激つよすぎるとかなあ。

17 じやあ……もつとやさしくしてあげる。

18 わたしの舌と、唇で」
わたしの舌と、唇で」

19

【 1分ほど主人公の乳首を舐めたり吸つたり】

20

21

22

23

24

1 【 1 胸の位置から主人公を見上げる】
2 もぐもぐ 「ふふふ。

3 ズボンの上からでも分かるよ。

4 おちんちん、もうすっごい硬くなってる。

5 …ねえ」

6

7 【 7 耳元で囁くように】

8 もぐもぐ 「君のおちんちん、お姉さんに見せてくれる?

9 恥ずかしい?

10 そうだよね。

11 君だけ恥ずかしいところ見られるなんて、嫌だよね。

12 ジやあ…わたしのブラウスも脱がせていいよ♥

13 彼氏より硬くできたら、

14 おっぱい見せてあげる約束だもんね。

15 ほら、ブラウスのボタン外して。

16 そう、あせらないで大丈夫だから」

17

18 S E ボタン外す

19 S E 衣擦れ

20

21

22

23

24

1

【 7 】

2 やくふ 「ん……？ ブラも外していいんだよ？」

3 ほら、背中の方にホツクあるから。

4 お姉ちゃんの胸にぎゅーって顔押し付けて。

5 あは ●

6 そうそう。一生懸命でかわいい。

7 がんばれ、がんばれ ●」

8

9 S E ホツクが外れる

10

【 1 】

11 やくふ 「あ……

12 やくふ 「ふふ……上手にはずせたね。

13 じやあ、ほら。お姉さんのおっぱい、見ていいよ。

14 おっぱい見たんだから、君もズボンぬぎぬぎしようね」

15

16 S E ズボンとパンツ脱ぐ

17

18 やくふ 「上手にぬぎぬぎできたねえ。えらいえらい ●

19 じゃあ、ちょっと触つただけで爆発しちゃいそうな、

20 君のおちんちん、

21 お姉さんがいい子いい子してあげる ●」

22

23

24

1 SE オリジナルのシユシユ音を背景に

2

3

【 7 】

4 もくも 「【甘い口調で】

5 はうら。シコシコ、シコシコ ❤

6 気持ちいい？

7 しこしこするたびに、

8 腰がビクビク跳ねちゃってる。

9 もつと聞かせて。女の氣みたいにかわいい声。

10 シコシコ、シコシコ ❤

11 シコシコ、シコシコ ❤

12 あ、まだだよ。まだ出しちゃダメ。

13 【クスクス笑いながら】なんでって……。

14 まだおっぱい触つてないのに、出していいの？

15 君が出しちゃったら、この授業はもうおしまい。

16 でも我慢できるんだつたら……」

17

18 【 7 耳元で】

19 もくも 「おっぱい、好きにしていいよ」

20

21

22

23

24

- 1 【 7 誘惑する口調で】
- 2 やくら 「揉んでも……、乳首つまんでも……舐めても……」
- 3 君のしたいように……。
- 4 【 急に触られて驚く】あつ……ー」
- 5
- 6
- 7 やくら 「あは♥
- 8 そんなに乳首、舐めたかったの？
- 9 ちゅうちゅう、ちゅうちゅう、あかちやんみたい♥
- 10 ん……。あつ。うんつ……
- 11 すゞ」……やさし……
- 12 初めてだから、もつと乱暴にされると思つてたのに、
- 13 彼氏より、ずっと……あ、ああ……つ
- 14 ん、ね……もう片っぽも、さわつていいよ。
- 15 そう。乳首舐めながら、指でくりくりつて……
- 16 あ♥♥ そう……じようず……
- 17 きもちい……あ、あ……ツ！【軽くいく】
- 18
- 19 S E 跳ねるような衣擦れ
- 20
- 21 【 1 上から見下ろすように】
- 22 やくら 「はあ……はあ……
- 23 ん……大丈夫。痛かつたんじやないよ。
- 24 君があんまり上手だから、気持ちよくなつちゃつただけ」

- 1 【 1 】
- 2 やくひ 「ねえ……キス、教えてあげようか。
- 3 大人同士がする、えつちなキス。
- 4 ふふ……興味津々だ♥
- 5 じやあ……口明けて、舌出して。べえって」
- 6
- 7 【 30秒ほどディープキス】
- 8
- 9 【 1 キスしながら】
- 10 やくひ 「はあ……。美味しい、君の舌……。ん、んう……。
- 11 いいよ、キスしながら、おっぱい触つても。
- 12 わたしもおちんちん触つてあげる♥」
- 13
- 14 SE ゆるゆる手口キ
- 15 【 30秒ほどディープキス】
- 16
- 17 【 1 】
- 18 やくひ 「ふはっ。
- 19 【甘えるように】
- 20 キスも、上手にできたね。
- 21 とつても優しくて、丁寧で……感じやった♥
- 22 君も、もうおちんちんからミルク、出したいよね?
- 23 じやあ、最後はお耳ペロペロしながら、
- 24 おちんちんよしよししてあげる」

1 SE 衣擦れの音

2

3 【③】

4 セイム 「そうだ。おねえちゃんとゲームしようつか。

5 おねえちゃんが十秒数えるまで、

6 イカないようにするゲーム。

7 ちやんとゼロまで我慢できたら……

8 またこうやって、えつちな授業してあげる。

9 じやあ、いくよお。十……」

10 11 SE 手口キ速度アソブ

12

13 【耳舐めながら、約十秒ごとにカウントダウン。

14 ときおり耳たぶへのキスや吐息を吹きかけるように】

15

16 セイム 「九、八、七、六、五、四、三、二、一……。

17 いくよ……。【強く】セーの、ゼロ！ ゼロ！ ゼロ！

18 ほーら！ 我慢してた恥ずかしいおちんぽミルク、

19 お姉さんの手にぜーんぶ出しちゃえ♥』

20

21 SE 射精音5秒くらい

22

23

24

1

【 3 耳にちゅつちゅしながら 少し息を荒らげ】

2

さくら 「すゞいたくさん出ちゃったねえ。

3

よしよし。えらいえらい。

4

ふふ、すごいにおい。

5

男の子の臭い。君の臭い。⋮⋮ん、れろ⋮⋮。

6

美味しい♥」

7

さくら 「⋮⋮ねえ。約束できる?

8

これからは、

9

わたしといるとき以外はオナニーしないって。
どんなにしたくなつても、我慢するつて。

10

そしたら次は、もつとすゞいことしてあげる。

11

⋮⋮うん、えらいつ。素直な子、好きだよ。

12

じやあ、指切りね。

13

⋮⋮ねえ。

14

」のことは、二人だけの秘密だよ?」

15

⋮⋮

16

⋮⋮

17

■トライク2 彼氏の家でフュラチオ 20分程度

- 1 場所：さくらの彼氏、和也の部屋
- 2 いつものように友達と公園経由で下校する主人公。しかし中受する
- 3 友人たちは塾通いのため、放課後は遊べないと別れてしまう。一人、
- 4 公園でたそがれる主人公。そこへさくらの彼氏、和也が通りかかっ
- 5 た。
- 6
- 7
- 8
- 9 SE スリツパでパタパタと走る音
- 10 【9】
- 11 サクラン 「【友達に語るような気安い口調で】
- 12 おかげりー、和也♪。
- 13 ちやんとチョコアイス、買ってきて……。
- 14 ——って、ちょっと、なんでその子がいるの？」
- 15
- 16 SE スリツパでパタパタと迫り来る音
- 17
- 18 【∞】
- 19 サクラン 「そりや怒るよ！
- 20 ランドセル背負つたままじゃない！
- 21 子供が学校から帰つてこなかつたら、
- 22 親御さんが心配しちやうでしょ？
- 23 騒ぎになつたらどうするの！」
- 24

1

【 8 】

2 やくも 「すぐ連絡してよね。ほらこれ、連絡先。

3 は？ バカ言わないで。ゲームなんかあと！

4 まずは宿題！

5 終わるまで、和也はあっちで一人で遊んでて！」

6

7 SE 遠ざかる足音

8 SE ドアを開く音、閉まる音

9

10 【 1 1 】

11 やくも 「学校帰りの子をそのまま連れてくるなんて……！」

12 君も、どうしてついてきたりしたの！

13 別に和也と仲良くなんて……

14 え？ わたし？

15 あ……そつか。わたしがいるって言われたから……

16 しようがないなあ、もう。

17 君つてば、わたしのこと大好きなんだから♥

18 おいで。和也の部屋で、宿題しよ」

19

20 SE スリッパでパタパタと歩く音

21 SE ドアを開く音、閉まる音

22 SE ガサゴソ

23 SE ガタツ

24

1

【6】

やくわい

「うーん、和也の机だと、全然サイズ合わないね。

2

やくわい
ゴメンね、今日だけ我慢して。

3

うーん⋮⋮でもなんか、

4

こうして机に向かってる君を後ろから見てるのって、

5

ちよつと新鮮。

6

いつもはローテーブルで隣同士だもんね。

7

うしろから、ぎゅってできそう。——こうやって」

8

9

10 SE やくわい

11

12 【6 背後から耳元に囁くように】

13 やくわい

「【耳元へ囁くように】

14

やつは怒つちやつたけど、

15

君が和也と一緒に帰ってきたときね、

16

わたし、ほんとは嬉しかったんだあ。

17

だって前の授業、楽しかったもん」

18

19 SE 紙のガサゴソ

20

21

22

23

24

1

【 6 】

2 もくも 「ふふふ……。思い出しちやつたかな？」

3 耳まで真っ赤。かーわい。

4 でも、それはあとね。まずは宿題やつつけちやおつか。

5 今日は算数かなー。ん？ ないの？

6 プリントは？ 出でない？ …宿題なし？

7 …えー……。じやあどうして、

8 和也を部屋から追い出したとき、

9 君は無言だつたのかなー。

10 もしかして……。

11 わたしと二人になりたかった？

12 さつきからソワソワしちやつてさあ。

13 もしかしてなにか、期待しちやつてる？」

14

15 【 7 】

16 もくも 「（〃）から徐々に甘い口調で、耳元に迫るようにな

17 どうなかなあ。わたし、君の気持ちが気になるなー。

18 もしそうだつたらさあ。

19 わたしとキス、イヤじやないよね？

20 ね、お口、あけて」

21

22

23

24

1 【 1 デイ一プキス一分ほど】

2 やくみ 「ん……。ふう……。嬉し。

3 君、わたしと同じ気持ちだったんだもん……。
ん……。

4 いいよ……。君の好きなこと、してあげる。

5 耳、こっち向けて」

6

7 【 7 軽くキスしながら】

8 やくみ 「【無い含めるようなゆづくりした口調】

9 やつぱり耳、弱いんだねえ。

10 耳キスで体ピクピクしちゃって、可愛いなあ。

11 ねえ……約束、ちゃんと守れてる?

12 私に内緒で、オナニーしてない?

13 よし、えらいえらい♥

14 「じゃあ——」

15

16 【 7 声を潜めて、内緒話のよう】

17 やくみ 「今日はここで」褒美だね。

18 耳の奥まで、優しくペロペロしてあげる。

19 ハッちも——」

20

21 【 3】

22 やくみ 「ハッちも」

23

24

1

【 7 】

2 やくら 「変な声、出しちゃだめだよ。

3 和也にバレンないよう、「こつそり……ね?」

4

5 【吐息やキスを混ぜつつ耳舐め一分半】

6

7 【7からうしろを回って3に移動しながら】

8 やくら 「ふふ。よく我慢できました。

9 顔が真っ赤だけど、まだいけるよね?

10 次は、こつちね」

11

12 【吐息やキス、「可愛い」など言葉を混ぜつつ耳舐め一分半】

13

14 やくら 「……ねえ。いまってどんな気持ち?

15 【耳を舐めながら吐息を混せて】

16 お姉さんの彼氏が、隣の部屋にいるんだよ?

17 えっちなイタズラされて、悪い気持ちになっちゃう?

18 なのに、おちんちん、こおんなに固く膨らむの?

19 変態さんだねえ」

20

21

22

23

24

1

【 1 】

やくみ

「あー、その困った顔も、最高にかわいい。

2

和也の話、しないでほしい？

3

お姉さんに彼氏がいるの、いや？ 嫉妬する？

4

じやあ、君からキスして。

5

和也から、わたしを奪い取る気持ちでさ。

6

ふふ……。でつきるつかなあ。

7

え？ ん！ 【勢いよくキスされて驚く】

8

9

【一分ほどディープキス】

10

11
12 【 1 うつとりと】

13 やくみ 「んん……。あ……。ふう……。

14 強引なキスも上手なんだね。

15 ところろに、されちやつた。

16 そんなにお姉さんを、自分のものにしたかった？

17 でも、まだダメ。そうだなあ……。

18 もつともつと君がねえ」

19

20 【 3 囁くように】

21 やくみ 「わたしだけを見てくれたら、考えてあげてもいいかな」

22

23

24

1 【 1 軽くキスしながら】

2 やくひ 「【誘惑する感じ】もしそうなつたら、どうしたい?

3 想像してみて。わたしの体、自由にして……。

4 めちゃくちやにしたって、いいんだからね。

5 なんでも言うこと聞いちやうし、なんでもしてあげるよ。

6 でも、……そうちなるには、

7 オナニーのときだけじゃなくて、

8 バはんのときも、お風呂のときも、寝てるときも。

9 どんなときも、わたしだけを考えてくれなきや、やだな。

10 だけど、今日はわたしをドキドキさせてくれたから……」

11

12 【 1 】

13 やくひ 「お礼に君のおちんちん、お口で気持ちよくしてあげる。

14 ほら、ちょっと足どかして」

15

16 SE 机の下に潜り込む

17

18 【 1 下から】

19 やくひ 「机の下から君の可愛い反応見上げるの、高まるなあ。

20 ねえ、今何考えてる?

21 わたしでいいぱい?

22 ほら、ベルト外して。

23 ズボンとパンツ、脱がせてあげるから」

24

1 SE ブルトの金具を外す音、衣擦れの音

2

3 【 1 引き続き下から】

4 セレウム 「すう」い……。

5 反り返つて、めちゃくちや元気じやん。

6 固くて……、ピクピクしててる。

7 いまからすること期待して、興奮してんだけねえ。

8 でも、焦つちやダメだよお。

9 【甘い声でゆっくりと】

10 まづは舌でペロペロして、綺麗にしてあげるから」

11

12 【30秒ほどフリラ】

13

14 セレウム 「ん……、ん。ちゅ。

15 わたしの舌、ザラザラするの感じる?

16 こうやつて、裏筋をれるーつて舐めると……

17 ほら、気持ちいいでしょ?

18 腰、震えてるね。

19 苦しい? 早く出したい?

20 ペロペロされてるだけじゃイケない?

21 じやあ前みたいに手で、しこしこしてあげようか?

22 ……ふふ」

23

24

1 【 1 引き続き下から】

2 やくら 「困った顔しなくても、分かってるよ。

3 ちやんとお口でくわえてあげる。

4 いくよー。 ……あーむつ……」

5

6 【 2 分ほど、ピストンフェラ】

7

8 やくら 「はむ……、ちゅ……、んちゅ……。ふあつ。

9 美味しいよ、君のおちんちん。

10 透明なヌルヌルも出きてるねえ。

11 もうイキそうかな？

12 やわらかいたまたまも、なでなでもみもみ。

13 ほーら、きもちいね♥』

14

15 やくら 「もう出る？ 出ちやいそう？

16 いいよ、お姉さんのお口に出して。

17 あーむ♥ じゅ、じゅる、じゅるるる……！」

18

19 【 30秒ほど激しへに、吸い上げる感じのフェラ】

20

21 S E 射精音 5秒ほど

22

23

24

1 【 1 引き続き下から】

2 やくわ 「ん、じゅる……じゅるる……」つくん。

3 ケホ……。

4 【熱を帯びた口調で】

5 たくさん出たね……。

6 すう「ぐ濃くて、ドロドロで、熱くて……、

7 美味しかった。

8 君も、気持ちよかつた？

9 あれえ？ 泣いちやつてる♥

10 涙出るくらい気持ちよくつて、ビックリしちやつたの？

11 よしよし、いい子だね。ほら、ズボンはかせてあげる』

12

13 SE 衣擦れの音、ベルトの金具の音

14 SE 机の下から這い出す

15

16 【 1 → 3 机の下から主人公の隣へ】

17 やくわ 「よい……しょつと」

18

19

20

21

22

23

24

1

【 3 】

さくら

「いつもの口調に戻る」

さ、充実した宿題の時間は、そろそろお開きにしよつか。

また今日みたいな授業、してみたい？

ん。もちろん、いいよ。

君がわたしのことで、

頭をいーっぱいしてくれたら、ね。

約束するよ。君も、約束できる？

どんなときも、わたしを考えるつて。

【ちゅ】

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

■ ドラッグ3 カテキョに塗つたシチュー 20分程

1 度

2 場所..主人公の家、ダイニング

3 4 急遽発生した遠方の法事に、主人公の両親は家を空ける。授業が終

5 わりそれを知つたさくらは、主人公に料理をふるまうが…。

6

7

8 【 13から15に移動しつつ】

9 さくら 「【明るく盛り上げるように】

10 お待たせ。

11 さくら先生特製の、ホワイトシチューだよ。

12 食べやすいように、

13 君が問題解いてる間に冷ましといたよ♥

14 熱いの苦手だったよね？」

15

16 SE テーブルにゴトツと皿を置く音

17

18 【 1 となりに座つて見つめ合うように】

19 さくら 「はい、あーん。

20 ん？ どうしたの？ 照れてるの？

21 それとも、ほんとは熱いんじやいかつて思つてる？

22 お姉さんが信じられないの？

23 あ、そう。

24 じやあ、今日はもう帰っちゃおうかなあ！」

1 【主人公、慌てて「食べる」と主張する】

2

3 S E 主人が前のめりになる衣擦れ

4

5 【 1 】

6 もくも 「ふうん……？ お姉さんに食べさせてほしい？」

7 本当に？

8 じやあほら、お口開けて。

9 あーん」

10

11 S E シチューをすする音

12

13 もくも 「美味しい？ よかつたあ。

14 ううん。これくらいいいよ。

15 材料費ももらつてるし。

16 パパとママ、帰つてくるの明日だつけ？

17 親戚の結婚式なんですよ？

18 君が一人で留守番するつて聞いて、ビックリしちゃった。

19 美味しいフルコースとか食べられるかもしないのに、

どうしても家にいたい理由があるんだって？

20 それってえ……」

21

22

23

24

1 【 1 近づいて】

2 やくみ 「パパもママもいないところで、

3 お姉さんと

4 思いつきりえつちなことしたいつて理由かな?
5 ん? どう? 違う?」

6

7 【主人公、しどろもどろに】

8

9 【 1 少し離れて】

10 やくみ 「答えられない?

11 ふふ…ほーら。シチュー食べて。

12 もう一口。あーんって。

13 おひと……」

14

15 【 1 】

16 やくみ 「あーあ、シチュー、こぼれちゃった。

17 服、汚れちゃったね?

18 洗つてあげるから、ほら、ぬきぬきして」

19

20 SE 衣擦れの音

21

22

23

24

1

【 1 】

やくわ

「ハ）ぼれたところ、熱くなかった？」

大丈夫？

うーん。心配だから、やけどしてないか、お姉さんが確認してあげる。

ほら、仰向になつて」

7

【 9 馬乗りになつて見下ろす距離】

やくわ 「鎖骨と、胸板……それに、可愛い乳首……

んー？ 乳首が膨らんで、

赤くなつてるのはやけどかな？

どう？ 触ると痛い？

手のひらでこうやつて、すりすりされると、どう？

ビクビクしてるのは痛いからかなあ？

じやあ、こうやつて……きゅつて摘ままれるのは？

あは ❤

すゞい声 ❤

ほーら、両方の乳首、きゅつきゅ、コリコリつてしてあげる ❤

ねえどう？

痛いの？

痛いんだつたら、やめてあげるけど……」

21

22

23

24

- 1 【 1 ぐつと顔を近づけて】
- 2 もくじ 「やうじやないなら、ちゃんと聞いてくれないとダメだよ。
- 3 どう?
- 4 お姉さんに乳首いじられて、君はどう思ってるの?」
- 5
- 6 【主人公「気持ちいいです」】
- 7
- 8 【 9 馬乗りになつて見下ろす距離】
- 9 もくじ 「そつかあ♥
- 10 きもちいいんだあ♥
- 11 素直に答えられた君に、
- 12 もつと気持ちいい」としてあげる。
- 13 よ……と」
- 14
- 15 【シチュー皿からスプーンでシチューを救い、主人公の胸に垂らす
- 16 もくじ】
- 17
- 18 SE ポトボト半固体のものが垂れる音
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24

1

【 2 】

2 やくら

「ふふふ……シチューまれの君、すゞく美味しそう。

3 やつき

やつきは君に食べさせてあげてばっかりで、

4 私

私は一口も食べられなかつたから、

5 もうおなかペこペこの。

6 君

君は、わたしのシチューのおさら。

7 ゼーんぶ

ゼーんぶ、わたしが、丁寧に舐めてあげるからね。

8 気持

気持ちよくつておかしくなりそうでも、

9 絶対

絶対に動いちやだめだからね♥」

10

11 【 1 やや下から、舐めつつ】

12 やくら

「ん、ちゅ……じゅる……はあ……美味し。

13 乳首

、吸つてあげるね。

14 右も

…ちゅ、ちゅる…れろ…ちゅ…。

15 左も

、じゅる…ちゅぱ…ちゅ、ちゅ…じゅる」

16

17 【 左右への乳首舐め 1分ほど】

18

19 【 1 舌から見上げるように】

20 やくら

「ああ…君のその、気持ちよくて、不安そうな顔、

21 たまんな

いなあ。

22 ん

、そんな目で見なくても、分かってるよ。

23 君もさ

わりたいんだよね？」

24

1 SE 体位を変える衣擦れ

2

3 【 やくら、主人公をひっぱり起こしながら仰向けになる】

4

5 【 1 少し離れながら】

6 やくら 「ほら、今度は君が私の上になつて。

7 よ……つと。

8 ふふ、そう。上手上手。

9 ブラウスを脱がせて……

10 ブラの外し方は、もう知ってるよね？

11 スカートの中に、手を入れて……そう、それがパンツ。

12 強くひっぱらないで。

13 優しく脱がせて……少しずつ、焦らすみたいに」

14

15 SE 衣擦れ、衣類が床に落ちる音

16

17 やくら 「ん……上手にできたね。

18 スカートの中以外、ぜーんぶ君に見られちゃった。

19 ねえ、次はどうしたい？

20 あつ……【胸にシチューをこぼされる】

21

22

23

24

1 SE ポトボト半固体のものが垂れる音

2

3 【 1 引き続き少し離れ】

4 もくも 「そつか。お姉さんと同じ」と、したいんだね。

5 いいよ、好きなところにこぼして。

6 たくさん舐めて♥

7 ん……。やつぱり、おっぱいからいくんだね。

8 君の大好物だもんね……、んつ……」

9 10 【 2 やや上から】

11 もくも 「あ、ふ、乳首、ダメ。ああ……。

12 上手……。あ、あ、す（さ）い……。

13 やつぱり君、ん……、舌使いが優しくて、いいよ、あん！」

14

15 【 騰め声一分】

16

17 SE ポトボト半固体のものが垂れる音

18

19 【 ∞ やや上から】

20 もくも 「あ、う、」つちも？ ……う！

21 あ、気持ちいい……。うそ……。

22 【 嘬ながら】優しくて、あ、涙出ちやいそう……。

23 ん……！ 甘噛み、ダメ、だよお」

24

1 【轟き声一分】

2

3 【8 引き続きやや上から】

4 もくも 「ね、もう乳首、綺麗だからあ……。

5 男の子つて、

6 みんな和也みたいに乱暴だと思つてたのに……！

7 あ、も、降参……！

8 うう……、んん、【耐えかねたように】えい！」

9 SE 体を床に倒される音（大き目）

10

11 【9 馬乗りになつて見下ろす】

12 もくも 「【息を整えながら】

13 もくも 「う……。これで……、逆転。

14 また、わたしが上になつたね。

15 でも、わざクリした。君、上手だつたよ。

16 お姉さん、すつごい気持ちよかつたもん。

17 ……本当はね、もつともつと、ゆつくり、

18 君から好きをもらうつもりだつたけど……。

19 我慢、できなくなつてしまつた」

20

21

22

23

24

1 【 3 耳元で 息を吹きかけるように】
2 ゃくら 「君の童貞、わたしにちようだい」
3

4 【 2 】
5 やくら 「ア ハハ。顔がまた真っ赤になつてる。
6 ほら、わかる?
7 スカートの中で、君と私の大事なところがキスしてる」
8

9 SE ポチヤ音
10
11 【 9 騎乗位で見下ろす 】
12 やくら 「【息を荒くしつつ】
13 ほら。おちんちん、当てがつただけで、分かるでしょ?
14 私のおまんこ、もうびちやびちや。
15 いまからここに、君のおちんちんが入るんだよ。
16 石みたいに固くなつた、君のおちんちん。
17 ドキドキしてる?
18 わたしもしてる。
19 ほら、ね? 胸に触つてみて。
20 心臓、ドキドキしてるのわかるでしょ?
21 怖がらないで。優しくしてあげるから。
22 ん……は、ああ、あああ」
23

1

S E 挿入音

2

【 9 奥まで入れてしばし留まる】

4 もぐる 「……全部はいっちやつた。

5 どう？ おまんこ、きもちい？

6 今らもつと気持ちよくなるからね……あ、ああ……！」

7

8 SE ピストン（騎乗位なので大きめに）

9

10 【 1分半ほどかけて、ピストンしつつ言い切る】

11 もぐる 「あつ、あつ。んう！ う、うん……。

12 すゞい、やっぱり固いい……。

13 あ、あ、君の、顔も、すっごい素敵だよ……！

14 これで、童貞卒業だね、おめでと……！ あ、あ。

15 お祝いに、キス、して、あげ、る。【顔に迫る感じで】
16 ん……」

17

18 【キスハメ一分程度】

19

20

21

22

23

24

1

【 1 】

2 やくら 「どう？ もうイキそう？」

3 わたしも、もうおまんこ溶けちゃう。あ、あ。

4 はあ、はあ……ああ、いい……

5 きもちい……

6 あ、あ、あ……！

7 も、出そう？ わたしも、イッちやうう……。

8 ん、いいよ、中に出して。

9 ほら、腰……下から突いて……♥

10 奥に当たるようにな……♥

11 ん、ん、んん！」

12 SE ピストンはやめて

13 SE ピストンはやめて

14 SE ピストンはやめて

15 【 9 騎乗位で仰け反るよう】

16 やくら 「あ！ あ！ ん……！」

17 しゅごいい……！ イク！ イッちやうよ！

18 あ、あ、ああ！ いいよ、イク！

19 イクッ！ はああ！ あつ！ ああーーー！」

20

21 SE 射精音

22

23

24

1 【 9 】

2 やくわ 「はあ……はあ……」

3 気持ち、よかつたあ……。

4 君のおちんちん、すっごい感じちやつたよお……。

5 わたしのお腹、君のやらしいお汁でぽかぽかする。

6 ハンナの初めて。

7 ね、キスしよ……」

8

9 【ねつとりデイープキス三十秒】

10

11 【 3 】

12 やくわ 「【甘い声で】

13 ほら。ぎゅって抱き締めてあげる。

14 んー……いい子いい子。

15 上手にえっちできたねえ。

16 どうだった？わたしの中……きもちよかつた？

17 あ。まーた目を逸らす。ズルいなあ。

18 どうしても言えない？恥ずかしい？

19 じやあ、感想は、お風呂で聞こうか。

20 体、シチューと、汗と、

21 えっちなベトベトだらけだもんね。

22 おいで、わたしが洗つてあげる」

23

24

1

【 3 耳元で】

さくら 「そ」でもう一回、えちなことしよ

2

さくら 「そ」でもう一回、えちなことしよ
♥』

■ テラツク4 20分程度

- 1
- 2 場所：さくらの部屋
- 3 さくらの期待に応えたいと頑張り、テストの成績が良かつた主人公。
- 4 しかし算数のテストだけ最後まで解くことができなかつた。
- 5
- 6 場所：さくらの部屋
- 7
- 8 SE ピンポン
- 9 SE 近づいてくる足音
- 10 SE 玄関開く
- 11
- 12 【9】
- 13 わくわく 「やつときたあ！ 待つてたんだよ、もう！」
- 14 ほら、早く早く！
- 15 テストの点数どうだった？ あ、ダメまだ答えないで！
- 16 お楽しみは私の部屋で、ね？」
- 17
- 18 SE 玄関締まる
- 19 SE 廊下を移動
- 20 SE 木製のドア開く
- 21
- 22
- 23
- 24

- 1 【 5 主人公の背中を押す】
- 2 やくら 「やあ、入つて入つて。
- 3 親に挨拶？ いーのいーの。
- 4 わたし、ほんと 一人暮らし みたいなものだし。
- 5 言つてなかつた？
- 6 うちの両親、いつも出張ばかりなんだあ。
- 7 あ、飲み物何がいい？
- 8 オレンジジュースね。
- 9 持つてくるから、ちょっと待つてて。
- 10 まだ答案出しちゃだめだよ！」
- 11
- 12 SE デア締まる
- 13 SE 足音フュードアウト
- 14 間
- 15 SE 足音フュードイン
- 16 SE デア開閉
- 17
- 18 【 1 1 】
- 19 やくら 「おまたせえ！
- 20 はい、オレンジジュース」
- 21
- 22 SE テーブルにゴトリとグラスを置く音
- 23 SE 隣に座る
- 24

1 【 3 身を乗り出すように】

2 ゃくら 「【 やや緊張】 や——どうだつた?」

3 算数と、国語と、理科のテスト。

4 んんん……。ドキドキする……。」

5

6 SE ガサゴソ

7 SE 紙をパサツと渡す音

8

9 【 2 】

10 やくら 「うん……。うん。

11 んん……。けつ」う、

12 【溜めて】 ……いい感じの点数じゃーん。

13 ホント、よかつたあ。

14 だつて、わたしが教え始めたとたん、
15 テストの点数下がつてたらさあ……

16 家庭教師クビになつて、

17 もう君と会えなくなつちやうかも……でしょ?
18 わたしのために、頑張つてくれたんだよね。

19 感動。

20 ね、きゅーさせで、きゅー」

21

22 SE 衣擦れ

23

24

1 【 7 耳元でしゃしゃく】

2 やくわ 「ん？ どうしたの？」

3 ハグじや足りない？

4 じやあ……キスしようか。

5 ん、ちゅ……」

6

7 【 1 分ほどディープキス】

8

9 【 1 】

10 やくわ 「ん……、ちゅ。

11 くちびるも、舐めてあげるね。ん……。

12 ふう……。【 口調を落ち着けて】

13 ……嬉しいときにするキスも、いいな。

14 君とキスするとね、

15 なんか安らぐんだよねえ。ホッとする感じ？

16 今日は君が頑張ってくれて、

17 気持ちがふわふわしてるし。

18 算数なんて九十点……。……あれ？」

19

20 SE 紙をめくる音

21

22

23

24

1 【3 隣に座っている距離】

2 やくふ 「算数のテスト、最後まで解けてないね。

3 集中力、切れちやつた?

4 問題はそんなに多くないのに、惜しいなあ。

5 …あ、ゴメン。分かってるよ。

6 頑張ったもんね。

7 責めたわけじゃないからさ、寂しそうな顔しないでよ」

8

9

10 【3 耳元で】

11 やくふ 「ほら、九十点の『』褒美に、

12 君の好きなこと、してあげるからさ。

13 お耳をピチャピチャ舐めて、気持ちよおくしてあげる」

14

15 【耳舐め一分】

16

17 やくふ 「くちゅ……ん……。

18 気持ちいい?

19 ん。いつものお顔になつてる。よかつたあ。

20 【誘うように】

21 じやあ次はさあ。

22 集中力のトレーニングしてみない?」

23

24

1 【 3 時々耳を舐めながら】

2 やくら 「ハハやつて……ちゅ、れる……お耳を舐められたままあ、

3 時間切れで解けなかつたテストの問題を解くの。

4 気持ちよくても集中しないと、問題、解けないよお？」

5

6 【 3】

7 やくら 「五分以内に問題、ちゃんと解けたら、

8 【囁く】お姉さんのこと、自由にしていいよ。

9 どうする？ お、……その目、やる気？

10 お姉さんも頑張るからね！」

11

12 【 3 → 7】

13 やくら 「次はこっちの耳を、

14 チュクチュクして気持ちよくしてあげる」

15

16 【ゆるゆる耳舐め一分】

17

18 【 7 引き続き舐めつつ】

19 やくら 「ん……。くちゅ……。

20 ふふ。ヒンピツが止まってるよ？

21 君には難しかつたかなあ？

22 くちゅ……ん……。

23 あ。……えらいね。また手が動き出したねえ。

24 でも、わたしだつて本気出すから」

- 1 【1分責めぎみに耳舐め】
- 2
- 3 【7】
- 4 もくも 「ちゅ、じゅる……ん……んえ？」
- 5
- 6 【7 驚き、少し離れて】
- 7 もくも 「ウソ、できたの！？ ちょ、ちょつと……見せて」
- 8
- 9 SE 紙をめくる音
- 10
- 11 もくも 「…………合ってる……。
- 12 ……わたし、けつこう頑張ったのに、早すぎない？
- 13 君の本気、甘く見てたかも……ん！
- 14 【主人公にキスされる】
- 15
- 16 もくも 「ちよつと、いきなりキス……！」
- 17 んん……。ちゅく……。はうう……」
- 18
- 19 【ティープキス1分ほど】
- 20
- 21 【1】
- 22 もくも 「【キスが終わつた】今は……。
- 23 らら……キスだけでふにやふにやに、それちやつた……。
- 24 あたま、ぽーつてなつちやつてる」

1

【 3 曳くように】

2

やくら 「ね、グツド行こ」

3

4 SE グツドが軋む音

5

6 【 1 6 】

7 やくら 「わたしの服、脱がせてくれる?

8 そうそう。ゆーつくりね。

9 ……って、いらつ。ん、あん、スカートまだだよお。

10 あ、おっぱい、あん、乳首吸つちやダメエ。——あつ

11

12 SE グツドにドサツと押し倒す音

13

14 【 1 仰向けて見上げる距離】

15 やくら 「押し倒すなんて……

16 大人の男の人、みたい。

17 ううん。自由にしていいって約束だもんね。

18 ふふ。ダメって、そういう意味じやないよ。

19 大丈夫。乳首、舐めていいからね。あつ……！

20

21 【主人公の胸を舐められ、喘ぎ声一分ほど】

22

23

24

1 【 1 やや上から】

2 やくひ 「あうう……。君の、優しいから……。

3 もう本当に、好きになりそ……。あつ！

4 【 息を荒げながら】

5 ねえ、ねえ、もうスカートと下着、脱がせて……。

6 我慢できないよお……。あとは、分かるでしょ？

7 お願い……」

8

9 SE ディードが軋む音

10 SE 衣擦れの音

11

12 【 1 やや上から】

13 やくひ 「ありがと……。

14 うん、そうやつてわたしの足を開いて、

15 足の間に、腰入れて。

16 わかる？ 君におっぱい舐められて、

17 こんなに濡れちゃった。

18 君から入れてくれるの、初めてだね。

19 いいよ。ゆっくり……ああ……」

20

21 SE ズブズブ音

22

23

24

1 【 3 】

2 やくわ 「う、あん……。

3 全部入っちゃったよお……。ああ……。

4 うん……、いいよ、動いて。」

5

6 SE 以降、腰を打ち付けるパンパン音を背景音に

7

8 【 1分ほどあえぎのみ】

9

10 【 1 】

11 やくわ 「あ、うう、気持ちいい、溶けちゃうよう……。

12 はうう、ダメ、あ、ね、ねえ、チューして、お願ひ……。

13 ん……」

14

15 【 キスハメ 1分程度】

16

17 やくわ 「はつ……ふ……。

18 ねえ、もうダメだよ、

19 バカになっちゃう、バカになっちゃう！

20 ん。んん！ ね、ねえ、一緒にイこうよお。

21 わたし、もうちよつとで、あ、あ、あ！」

22

23 SE 打ち付ける音を速めていく

24

1

【 1 】

2 サクン 「あ、あん！ ふあ。あ、あ！」

3 ああ！ もうダメ！ ダメ！

4 あ、イク！ イツちやう！ あ、あ、あ～～！」

5

6 SE 射精音 5秒程度

7

8 サクル 「う……、あ……。気持ち、よかつた……。

9 ねえ、しばらく繋がったままでいようよ。

10 抱き締めて、いい？」

11

12 SE ポソゾソ

13

14 サクル 「ふふ。君をこうしてぎゅっとするの、好きな時間だなあ。

15 ……君も、ぎゅってしてくれる？

16 ん、ありがと」

17

18 【 3 】

19 サクル 「……ねえ。

20 ホントに、君を好きになっちゃつたかも」

21

- 1 ■ トラック 5 公園、彼氏から隠れて 20 分程度
- 2 場所…大きな公園（近所）
- 3 休日に和也に遊びに誘われた主人公とさくら。しかし場所は近所の
- 4 公園。文句を言うさくらだが、その裏に主人公と二人になるための
- 5 打算が隠れていた。
- 6
- 7 SE 鳥の鳴き声や木の葉の擦れなど外の音
- 8
- 9 【 1 0 】
- 10 さくら 「【 やや呆れ口調】
- 11 よかつたねえ、和也。
- 12 ハんな近所の公園に、この子付き合つてくれてさあ。
- 13 いや、ダメとかダメじやないとかじやなくてさ、
- 14 休みの日に、お姉さんお兄さんとお出かけつて言つたら、
- 15 どつか面白いとこ行くつて思うでしょ？
- 16 そりやっこ、昔は和也とわたし、よく遊んだけどさ……。
- 17 もう」
- 18
- 19 SE 衣擦れ
- 20 【 2 主人公と同じ目線で優しく】
- 21 さくら 「うめんね。君、退屈だよねえ。
- 22 和也つて子供の頃からこうでや。
- 23 みんな自分と同じ感覚つて思つてるんだよ。
- 24 許してあげてね。まだどつか連れてつてあげるからせ」

1 【 3 内緒話をするような囁きで】

2 やくら 「じやんけんになつたら、チヨキ出して。

3 和也、パーしか出さないから」

4

5 SE 衣擦れ

6

7 【 1 0 会話を仕切り直す感じ】

8 やくら 「ね、和也。この子、公園でも嬉しいって。

9 だからせつかくだしさあ。昔の続き、してみない?

10 そ、かくれんぼ。

11 和也、一回もわたしを見付けたことなかつたでしょ?

12 いまだつたら、どうかなあ。お、やる気?

13 負けっぱなしなのに負けず嫌いなあんたの性格、
嫌いじやないよー。

14 ジやあ、鬼、決めようか。じやんけん! ポン!』

15

16 SE シュツと腕を出す音

17

18 やくら 「よつし! 和也が鬼!

19 いい? 見つけ出すまで時間無制限だからね!

20 二十数えて!

21

22 ポーイ! スタート!』

23

24

1 【 3 小声で】

2 やくら 「や、君もわたしと行くよ」

3

4 SE 駆け抜け足音五秒

5

6 【 1 5 主人公の手を引いて息切れしながら】

7 やくら 「ハリだよ、ここ。わたしのとつておき。

8 その倉庫の裏側に入るの。

9 そんなに狭くないから大丈夫」

10

11 SE 草や障害物をかきわけるガサガサ

12

13 【 ∞ 】

14 やくら 「よいしょっ……と。

15 子供の頃さ、わたしも和也とよくかくれんぼしててね。

16 あいつ、この場所見付けたことないんだ。

17 だからハリ、いまはわたしと君だけの秘密の隠れ家。
わたし、早く君と一人になりたくてさ。

18 【 声のトーンを落ち着けて】

19 君は、違った？

20 和也に気を使わなくていいからさ、聞かせてよ。

21 そうだ。もし君もわたしと同じ気持ちだったらねえ」

22

23

24

- 1 【 7 】
2 もくも 「じゃ、このカゴを台にしよつか。
3 これに乗つてキス、してくれる?
4 君からしてくれたら、嬉しい♥」
5
6 【 1 】
7 SE 台に乗るガタツとした音
8 【キス音 1分】
9
10 もくも 「よかつた。
11 君と気持ちがおんなじって、
12 なんか嬉しいしドキドキするよ……。
13 ふふ。そんな目しなくても、分かってる。
14 今度は、わたしがお返ししなきやね。
15 お耳、貸して♥」
16
17 【 3 】
18 【 1分半ほど耳舐め】
19
20 もくも 「【耳舐めの一分半の間に、～いいかなあ、まで言い切る】
21 ね、なんかハラハラするねえ。
22 誰かに見つかっちゃうかも……。
23 和也が初めてここに来ちゃつたり……。
24 でも、わたしはそれでもいいかなあ」

- 1 【3から7に回りながら】
- 2 やくら 「――って言つても、君は困つちやうよね。
- 3 しゃらくは、こんな感じがいいのかな。
- 4 や、じやあ次はこっち。心を込めてペロペロするね」
- 5
- 6 【1分ほど耳舐め】
- 7
- 8 やくら 「んん…。【耳舐めを終えて】
- 9 ねえ、もうズボンの上からでも分かるよ。
- 10 【1 迫るように】
- 11 君のちんちん、こんなにおつきくなつてゐる。
わたしで興奮してくれたんだねえ。嬉し♥
- 12 じゃ、今度はお口でしてあげる。
- 13 ズボン、下ろすよ… ♥」
- 14
- 15
- 16 SE ベルトのバックルを外す金属音
- 17 SE ズボンを下ろす衣擦れ
- 18
- 19 【1 下にもぐりこむ感じで】
- 20 やくら 「分かつてるよ。
- 21 やくら 「まずペロペロして欲しいんだよねえ。ん……」
- 22
- 23 【1分ほど、舐める音】
- 24

1 【 1 引き続き下から】

2 やくら 「ふふ。先っぽからヌルヌルお汁出できたねえ。

3 ジや、次はわたしのお口で、かぶつといぐよ
4 あつたかくて気持ちいいの、知つてゐよねえ。じやあ……。
5 んく……。ん……」

6

7 【 1 分ほどフェラ音】

8

9 やくら 「ちゅく……。気持ちいい?

10 ん? 手、どうしたの? あ、いいよ。

11 おっぱい、好きだもんね。

12 立つから、

13 【 1 主人公とだいたい同じ目線に】

14 服の上からじやなくて直接触つて ●

15 ボタン、外せるでしょ?」

16

17 SE 衣擦れ

18

19 やくら 「手、あつたかいね。ん……。はう……。

20 ね、乳首舐めて欲しい……。わたし、君の頭撫でてたい。
21 うん、そう。ん、あ……！」

22

23

24

1 【 1 やや上 喘ぎながら、息も絶え絶えに】
2 ゃくら 「あ、あん……。

3 やつぱり優しく、舐めてくれるんだね。

4 なんか……、切なくてたまんないよ。

5 愛しいって、う……、感じ。

6 うう……。ふ……♥

7 最初は、ね、君がわたしのものになればいいなって、
8 思つてたんだ。う……。

9 だけど、逆になつちやつたね。

10 こんなに君が愛しくなるなんて、思わなかつた……。
11 あん！

12 ねえ。そろそろ、入れて欲しいかも……。

13 平氣だよ。ここ、誰も来ないから。

14 わたし、たぶんビショビショになつてる。

15 君が、欲しいの……。

16 スカートまくつて、パンツ下ろして……。

17 そう……」

18

19 SE 衣擦れ

20 SE ハソゴソ

21
22
23
24

1

【 1 】

2 やくわ 「いいよ……。

3 わたし壁に手をついてるから、

4 【 1 】顔が逆に向く】

5 うしろから、入れて」

6

7 SE ズブズブ音

8

9 やくわ 「ああっ……！

10 入って、来るう……！

11 【声を抑えるように】

12 う、ふ……。あ、あ、あ～♥」

13

14 SE リリから尻に打ち付ける音を背景に

15

16 やくわ 「あん、ああ、あんん！ダメエ！

17 ゴメン、ゴメンね、声、我慢できない。

18 君のおちんちん、おまんこにいっぱいこれで、わたし、バカみたいに気持ちよくなつてるよお。
すゞいよ、すごい……！あん！あん！あん♥」

21

22

23

24

1 【 1 引き続き顔が逆向 喘ぎ声 30秒】
2 もくも 「ちよつと、あ、ちよつと、待つ……て。
3 和也の、声……。はうっ！」

4 【 再び声を抑えるように】
5 ダメ、見つかっちゃう。動かないで……。う……」

6

7 SE 打ち付ける音停止
8

9 もくも 「怖い？ 大丈夫だよ。

10 なにがあつても、わたしが守るから。

11 ね、安心のおまじない。キスしよ♥

12 【挿入したまま体を捻り、顔が至近距離に】

13

14 【30秒ほどディープキス】

15

16 【 2】

17 もくも 「ん……、ふ……。

18 【 1 顔が再び逆をむく】

19 和也、もう行つた、かな？ あん！」

20

21 SE ハハから尻を打ち付ける音を背景に

22

23

24

1 【 1 引き続き顔が逆に向く】

2 やくら 「あ、あ、あ！ すゞ」……！ いきなり動くのナシい……。

3 焦らされて、ヤバくなつてるからあ。

4 【 大きな喘ぎ声三十秒】

5 いや、あん！ 壊れちやう！ もうムリ……。

6 ね♥ 一緒にイー？ いい？ いい？』

7

8 SE 打ち付ける音を速めていく

9

10 やくら 「【荒げる息で喘ぎ声を次第に大きくしながら】

11 あ、もうダメ。頭の中、真っ白に……！

12 イヤ、ダメ、ダメ、ダメ！

13 う、う、ううう……！ あ、イク！ ふ、うつ！

14 【体を反らせ】

15 あ、イク！ イツちやう！ あ！ ああっ！ あーっ！」

16

17 SE 発射音

18

19

20

21

22

23

24

1

【 1 】

さくら

【荒い息】

すゞかつたよ……♥ ね、抱き締めさせて。

2

【至近距離】

3

死んじやうかと、思つた……。

4

いつもわたしが、君にご褒美あげてたのにさ。

5

もう、もうう側になつちやつたね……。

6

ねえ、キス、欲しい♥』

7

【キス音と共に5秒ほどでフェードアウト】

8

10

9

11

12

13

1 ■ トラック 6 ハピローグ 3 分程度

2 場所..夕暮れの公園

3

4 SE カラスの鳴き声

5

6 【 8】

7 やくら 「ちよつと見てよ、スマホ。和也から。

8 見つからないから帰るって……。

9 信じられない……。友達の家にでも誘われたんだよ。

10 いつつも自分勝手でさ、やになるね。

11 ……でもお陰で、ずっといちゃいちゃできたから、

12 ま、いつか。

13 もう君んちの門限過ぎそうだし、わたしたちも、帰る」

14

15 SE 足音

16

17 やくら 「んー？ どしたの、モジモジして。

18 大丈夫だよ。ちよつとくらい門限過ぎても、
わたしと一緒になら怒られないって。

20

21 【主人公、「今日、親いないんだ】】

22

23

24

1

【 8 】

2 サクラ 「え？ あ、そっか。

3 今日はパパとママ、仕事で遅くなる日かあ。

4 ふーん、そつかそっか……。

5 それでモジモジしてたのかあ、なあるほど。

6 んー、じやあさあ」

7 耳元で囁くように】

8 サクラ 「これから君の部屋で特別授業、しよつか♥」

9

10

11

12